

令和3年度女川町地域公共交通調査事業等業務委託 町民アンケート調査実施報告書（概要）

■調査実施概要

調査目的：令和3年10月1日から町民バスの実証試験を実施し、目標の達成状況や効果の発現状況、運行内容の使い勝手、新たに発生した課題などを把握し、実証試験の効果検証や運行内容の改善の検討材料を収集するため、町内の全世帯を対象に、町民アンケートを実施した。

調査対象：女川町内の広報紙配布世帯（2,736世帯）

対象者数：2,736人

調査対象地区：女川町全域

調査方法：町広報紙と一緒に調査票を配布、郵送回収

調査時期：令和3年12月1日（水）～12月12日（日）

回収状況：631票（回収率：23.1%）

■回答者の属性

高齢者（特に女性）が多く、既に運転免許が無く送迎や公共交通に頼っている人や、将来的に運転をやめる意思を持っている人が一定数確認できた。

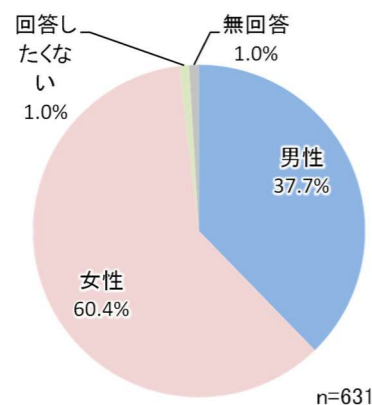


図 性別

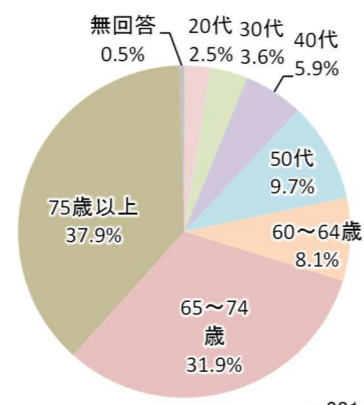


図 年齢

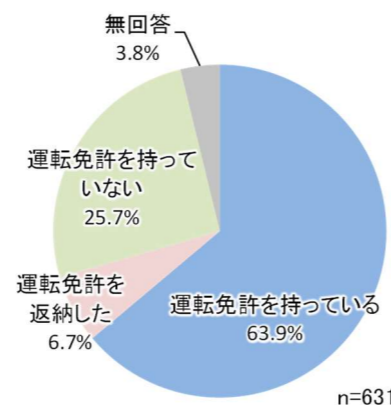


図 免許の保有状況

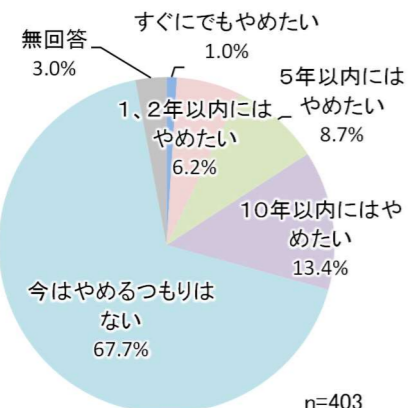


図 自動車運転の継続意向

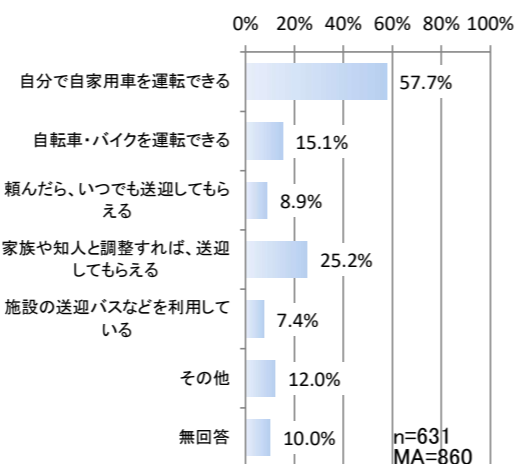


図 利用できる移動手段

■実証試験期間の町民バスの利用状況について

- 第二期実証試験運行の「利用経験あり」は約3割に留まる。一方で、「今後利用したい」を含めると約7割の利用が見込まれる。
- 利用目的は「通院」「買い物」「銀行・郵便局での手続き」「町役場での手続き」がメイン。利用者の約6割は、町民バスの外出で複数の目的地を利用。

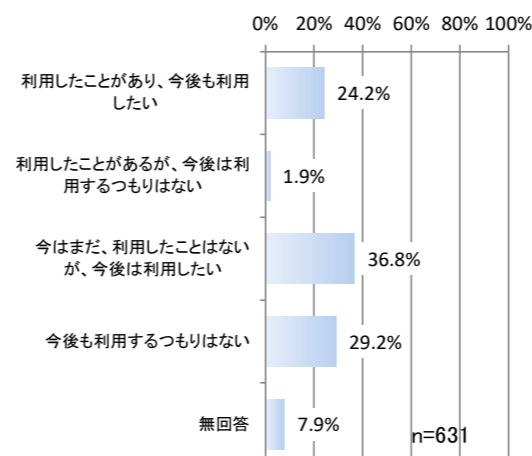


図 町民バスの利用状況

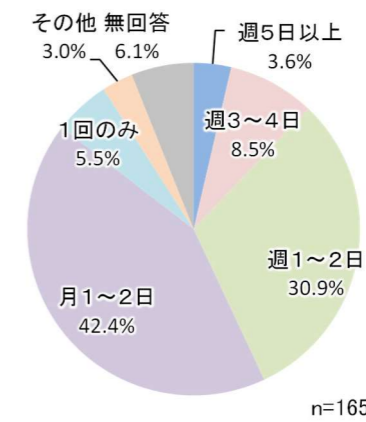


図 町民バスの利用頻度

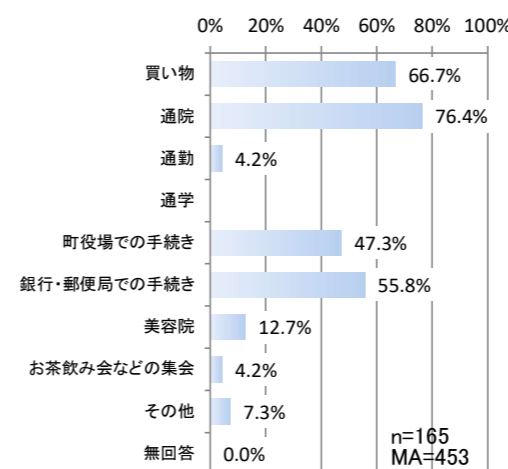


図 町民バスの利用目的

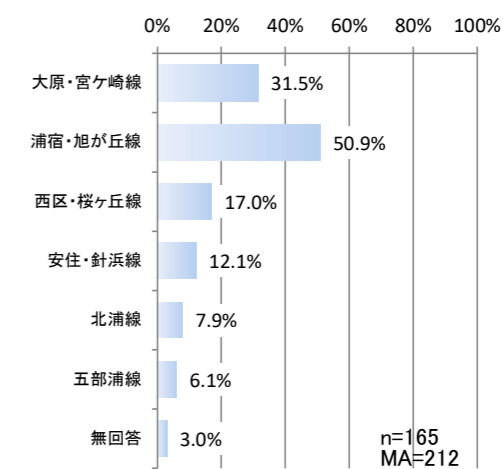


図 利用した路線

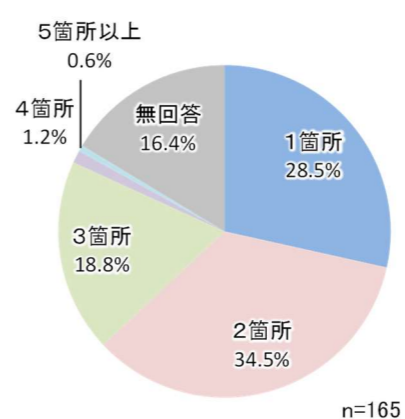


図 外出される際の目的地の数

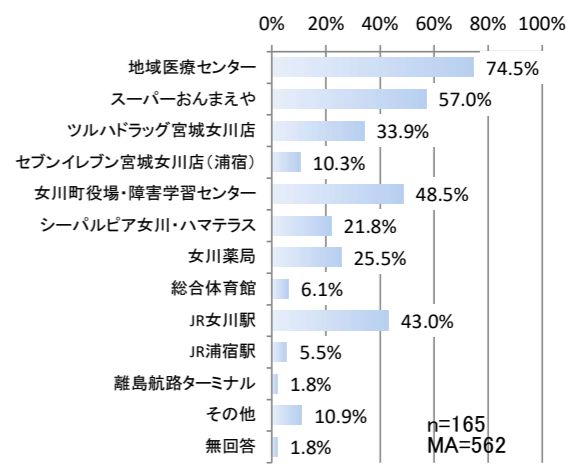


図 外出される際の目的地

■ 実証試験期間の町民バスの満足度について

・ 利用した理由をみると「自宅からバス停が近いこと」が利便性向上に効果的であった。一方で、利用しない理由としては、1割が「遠回りで、目的地に着くまで時間がかかるため」と回答。また、「自家用車やバイクがある・送迎してもらえるため」との回答も多く、自家用車が運転できなくなった時や、送迎が困難になった際の移動手段が求められている。

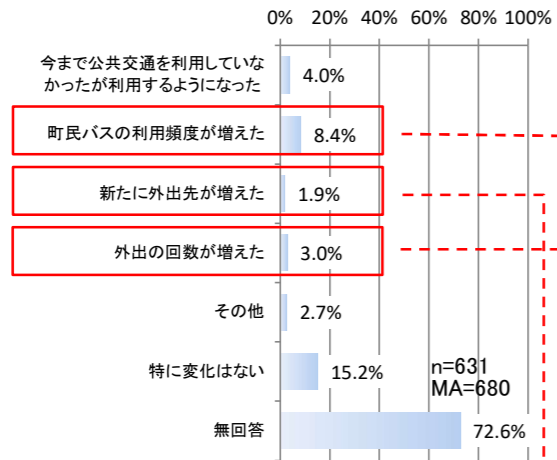


図 お出かけ状況の変化

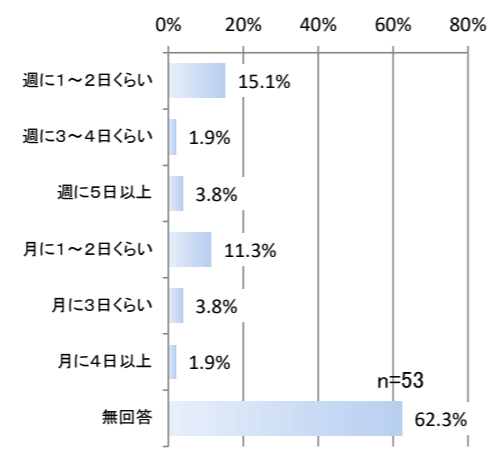


図 町民バスの利用頻度が増えた（利用頻度）

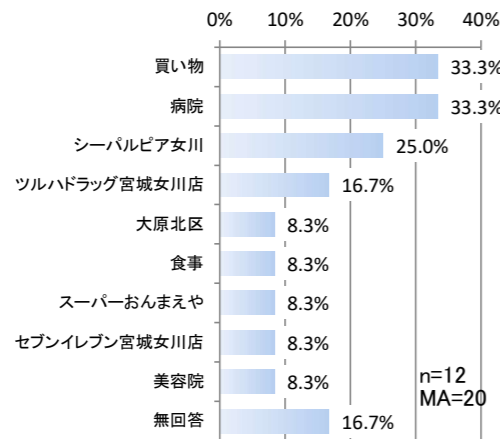


図 新たに外出先が増えた（具体的な外出先）

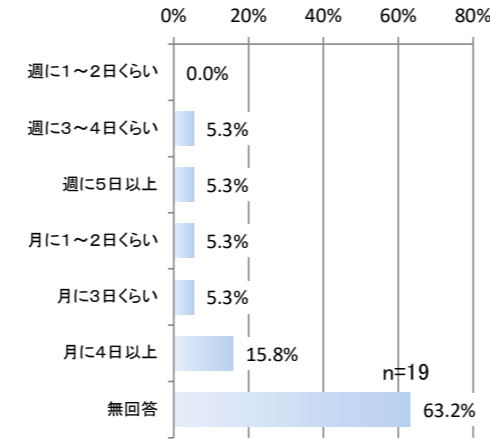


図 外出の回数が増えた（外出回数）

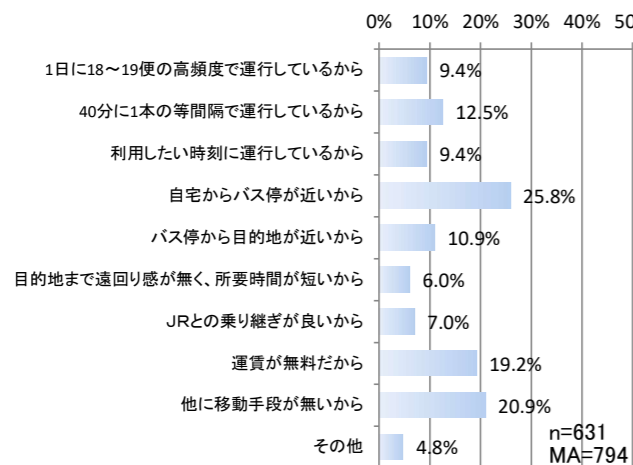


図 町民バスを利用する（したい）理由

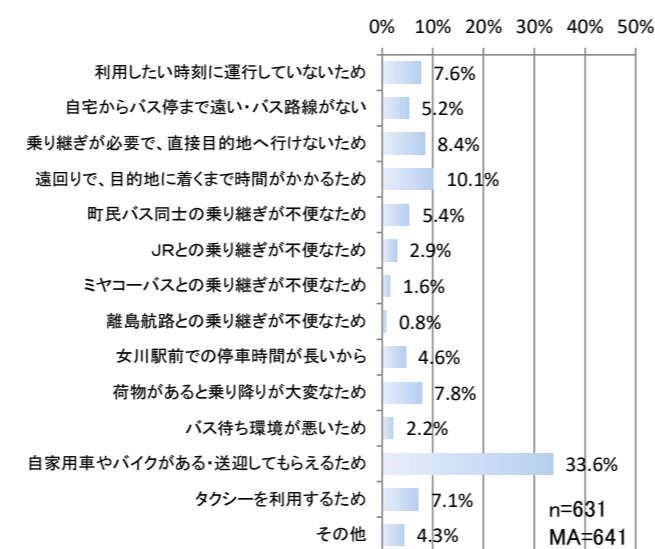


図 町民バスを利用しない理由

・ 路線の役割を明確化して乗り継ぎを前提とした第二期実証試験運行では「町民バスとの乗り継ぎ」が不評。それ以外の運行システムに対しては、一定の評価を得ている。

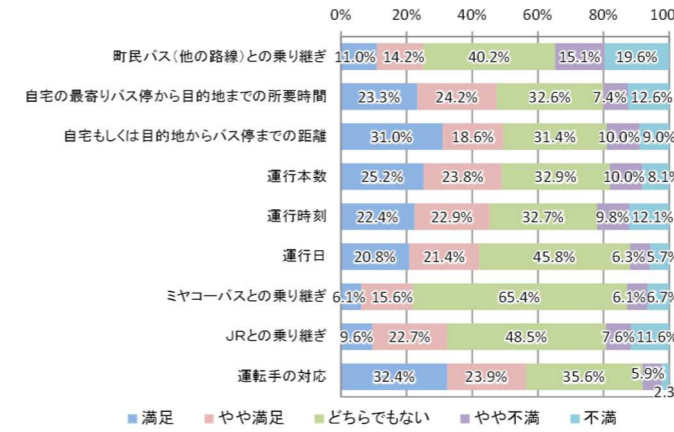


図 実証試験に対する満足度評価

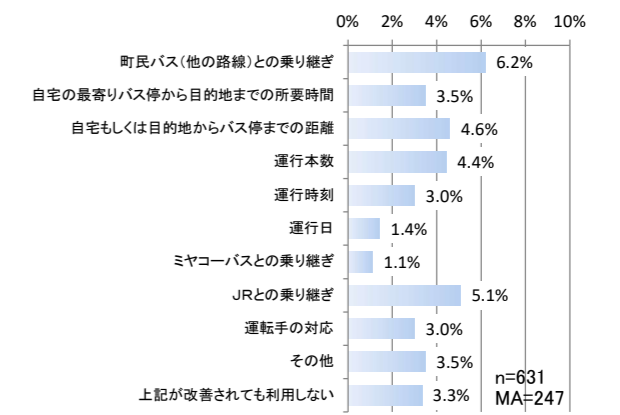


図 町民バスを利用するために改善が必要な項目

■ 町民バスの運賃について

・ 町民バスについては受益者負担の原則に則って「有償」での運行が妥当であると考えられる。また、第二期実証試験運行前と同様に「大人 200 円」であれば、約 6 割の住民には理解が得られることが期待される。

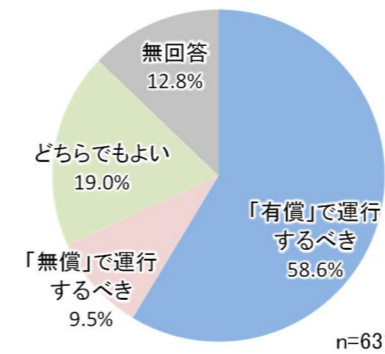


図 運賃についての考え

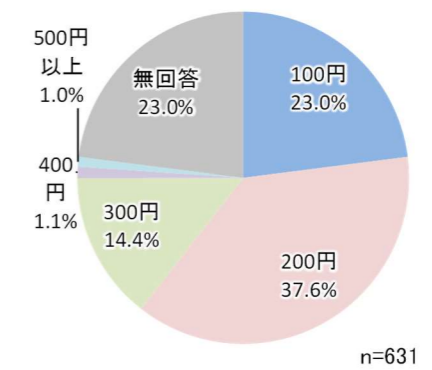


図 支払える一乗車の運賃額

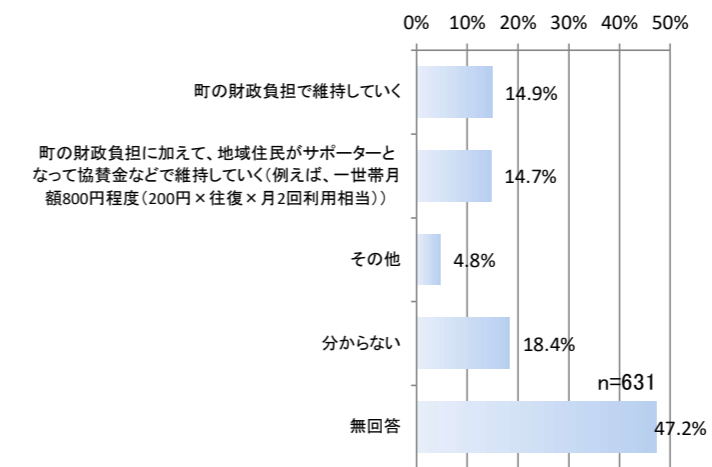


図 無償の場合に町民バスを将来維持していくための考え